

令和 2 年 1 月 14 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 16 回「遮蔽計算の応用技術」研究専門委員会
開催日時	令和元年 12 月 25 日(水) 13:30－17:00
開催場所	理化学研究所 東京連絡事務所 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング(COREDO 日本橋)15 階会議室 1+2
参加人数	20 名, 上菟主査(理研), 浅見幹事(海技研), 糸賀幹事(JASRI), 中野幹事(日立 GE), 奥村幹事(JAEA), 岩下(IHI), 大石(日環研), 尾方(MHI), 奥野(安藤ハザマ), 鎌田(海技研), 今野(JAEA), 坂本(幸)(アトックス), 佐藤(量研), 助川(量研), 谷口(大成建設), 谷内(TNT), 中田(MHI-NS), 中根(JAEA), 平尾(海技研), 平山(KEK)
議 事	1. 事務連絡及び議事録の確認 上菟主査より, 配布資料と前回議事録(案)の説明がなされ, 第 15 回会合議事録案は変更なく承認された. 2. 遮蔽ハンドブック(応用編)の出版用原稿準備状況の確認(上菟主査) 上菟主査より, 遮蔽ハンドブック(応用編)の各章・節の原稿準備状況が報告された. 原稿案の準備はほぼ整い, 各節の執筆者の確認を行った. 応用編の総ページ数は 425 ページ程度と見込まれている. 出版までのスケジュールは, 入稿期限令和 2 年 2 月 10 日, 校正 2 月 20 日, 校了 2 月 29 日, 納品 3 月 10 日の予定である. 3. 原稿案紹介(担当委員) 原稿確認が未了の章・節(7.4 節, 4.1 節, 5.1 節, 6.1 節)の担当委員から原稿案の説明がなされ, 内容について委員により修正案や表現方法についてのコメントが出され, 入稿期限までに修正原稿案を提出することとなった. 4. 次期専門委員会の設立に関する議論 放射線ハンドブック(基礎編・応用編)の完成により, 放射線工学部会が掲げた技術ロードマップのうち, 「人材育成と技術伝承」に関する目標は概ね達成した. 残された課題である「遮蔽計算手法の標準化」と「国産遮蔽計算コードの開発」に向けて, 「遮蔽解析手法の V&V 検討」研究専門委員会(仮名)」の設立が提案され, 準備を進めることとなった. 5. 次回会合予定 次回会合(最後)は, 3 月中に開催予定.
備 考	